

## 点字読書会との意見交換まとめ

- 1 日 時 平成 28 年 9 月 20 日 (火) 13:30~14:45
- 2 場 所 障がい者福祉会
- 3 参加者 酒田点字読書会 会長他 2 名  
(市側) 都市デザイン課 本間主査、今井主事  
図書館 阿部館長、岩浪副館長

### <ライブラリーセンター他施設全般>

#### <案内関係>

- ・建物の配置はシンプルなデザインだとわかりやすくいい。
- ・誘導ブロックを設置する場合、外の道路に設置しているブロックと同じだと凸凹で歩きづらい。今は室内用のブロックも出ているはずなので、人がよく通る入口近くやトイレ近くを特に検討して欲しい。
- ・弱視の人には、建物と似た色の誘導ブロックだと見えづらいので色も考慮してほしい。
- ・最近のトイレはボタンがたくさんあり、どこを押していいか戸惑ってしまうので、音声案内などをつけてわかりやすくしてくれるといい。
- ・受付カウンターが奥だと不便を感じる。車いす向けにスロープなどの誘導設備は充実しているが、視覚障がい者用の設備はまだ充実していない。
- ・受付は2か所あれば理想的だとは思いますが、市役所の1階のカウンターのような総合案内ができるといい。スペースがあれば、電車やバスで来る人(1階から入ってくることを想定)、車で来る人(2階から入ってくることを想定)それぞれに感知して音声案内する機能があるといい。
- ・音声案内については、FMラジオで拾う場合もあるが、今はなかなかない。
- ・図書館の機能に学習室ができるとのことだったが、音訳や点訳の場合、外部の音あまり入らないような小さい部屋で対面朗読ができるといいなと思う。研修室や交流の場としても使えると思う。最近だと、米沢市の新しくできた市立図書館はそういう部屋が奥にあるのだが行きづらい。

#### <図書関係>

- ・山形県点字読書会というのがあり、そこに会員登録すればパソコンで拾って全国の本をダウンロードして聞けるシステムになっている。ただ、中央図書館にその機能を持つてくるのは大変だと思う。
- ・個人的に月に150時間くらい録音図書を聞いていて相当の音訳・点字図書の量があるため、録音図書の蔵書や取扱いを中央図書館にお願いするのではなく、公共図書館と点字図書館が連携して、情報提供をしてもらいたい。
- ・地域の情報誌等は音訳をしてもらっているし、これからもそうして欲しい。現在、「風と光と」(音訳ボランティア)の方からコミュニティ新聞などを音訳してもらい、中央図書館から発送してもらっている。地域の文書以外は、ユーザー登録をして、注文して、直接発送や取り寄せた図書を借りる窓口や案内が中央図書館にあればいいなと思う。
- ・最近では、データでやりとりして、点字図書を合成音声で読み取ることができる仕組みがある。点字はこれからはなくなるが、点字図書を揃えるとなると費用も場所もとるので、点字図書

館と公共図書館とでネットワークを組んでもらえれば便利になると思う。

・録音図書は視覚障がいの人だけでなく、例えば目が悪くなって活字を見るのが大変な人など様々な立場の人に使えるので、そういう人たちも使いやすくなる仕組みができればいい。